

甲斐市 議会だより

No. 55
平成30年4月25日発行



やばたいぬ



甲斐市マスコットキャラクター

『未来の消防士』

平成30年3月4日
消防団フェスタ(島上条公園)

今号の見どころ

| | |
|--------------|-------|
| 第1回定例会 | 2ページ |
| 定例会審議結果 | 14ページ |
| ここが聞きたい 一般質問 | 15ページ |
| 市民と議会の対話集会 | 20ページ |
| 市民の声・議会傍聴記 | 24ページ |



KAI City



平成30年 第1回定例会

【定例会のあらまし】

平成30年第1回定例会は、2月26日（月）から3月16日（金）までの19日間の会期で開かれました。今定例会では、市長から施政方針、当初予算、条例改正および補正予算などの議案が提出され、審議の結果、全て原案どおり可決されました。また、8人の議員から一般質問が行われました。定例会の様子は、議会ホームページで録画中継を配信していますので、ご視聴ください。

平成30年度 保坂市長の施政方針

山梨県緑化センター跡地活用に向け基本計画策定



施政方針を説明する保坂市長



活用が期待される県緑化センター跡地

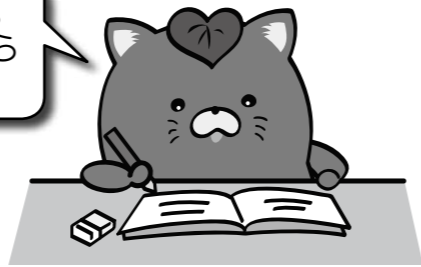
■施政方針要旨

今定例会に提出した、平成30年度一般会計などの当初予算などの概要を、説明するとともに、所信の一端を述べ議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をいただきたいと思います。

さて、平成27年度から平成31年度を計画期間とした甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、「甲斐市版ネオボラ推進プロジェクト」をはじめ、各施策に取り組み、成果を着実に挙げているところである。この取り組みの一つである「バイオマス産業都市構想」においては、本市にとっても有益な事業であり、本市の課題解消にもつながる重要なプロジェクトである。このため、引き続き、本事業の実現に向けて、取り組んでいきたいと考えており、また早期事業化に向けて鋭意努力していく考えである。また、山梨県緑化センター跡地活用に伴う事業展開についても、今年度中に基本計画を策定し、民間活力を活用した公民連携事業への取り組みなどの方針決定を行い、新たな戦略的な取り組みとして、早期事業化の実現を目指していく考えである。

それでは、平成30年度当初予算の概要を説明する。平成30年度の予算編成については、第2次甲斐市総合計画を踏まえて、政策課題の着実な推進と健全財政の堅持を基本に「緑と活力あふれる生活快適都市」および「創甲斐教育」の実現に向け、施策の選択と集中を図ったところである。予算総額は、一般会計は、250億3,600万円。特別会計は、151億9,860万7千円。水道事業会計は、11億1,718万9千円。総額は、413億5,179万6千円である。

第1回定例会では、条例の制定や改正について審議を行いました。その中で、皆さんの生活に身近なものをピックアップしてお知らせします。



●第7期介護保険事業計画における介護保険料所得段階表

| 所得段階 | 区分 | 月額 | 年額 | 基準率 |
|--------------|--|--------|----------|--------------|
| 第1段階 | 生活保護・老齢福祉年金等 本人/世帯非課税 本人の年金収入と所得の合計が 80万円以下 | 2,340円 | 28,080円 | ×0.45 |
| 第2段階 | 本人/世帯非課税 本人の年金収入と所得の合計が 80万円を超え120万円以下 | 3,640円 | 43,680円 | ×0.70 |
| 第3段階 | 本人/世帯非課税 本人の年金収入と所得の合計が 120万円を超える | 3,900円 | 46,800円 | ×0.75 |
| 第4段階 | 本人非課税/世帯課税 本人の年金収入と所得の合計が 80万円以下 | 4,680円 | 56,160円 | ×0.90 |
| 第5段階 | 本人非課税/世帯課税 本人の年金収入と所得の合計が 80万円を超える | 5,200円 | 62,400円 | ×1.00 基準額 |
| 第6段階 | 本人課税 所得が120万円未満 | 6,240円 | 74,880円 | ×1.20 |
| 第7段階 | 本人課税 所得が120万円以上200万円未満 | 6,760円 | 81,120円 | ×1.30 |
| 第8段階 | 本人課税 所得が200万円以上300万円未満 | 7,800円 | 93,600円 | ×1.50 |
| 第9段階 | 本人課税 所得が300万円以上400万円未満 | 8,840円 | 106,080円 | ×1.70 |
| 第10段階 (新) | 本人課税 所得が400万円以上500万円未満 | 9,100円 | 109,200円 | ×1.75 |
| 第11段階 (新) | 本人課税 所得が500万円以上 | 9,620円 | 115,440円 | ×1.85 |



健康づくり事業の推進が期待される

甲斐市介護保険条例の一部改正の件を可決 低所得の方に配慮するも 介護保険料増額

■条例改正の内容

第7期介護保険事業計画における、地域包括ケアシステムの深化・推進および介護保険制度の持続可能性の確保に向けた計画策定により、平成30年4月から第1号被保険者の介護保険料の所得段階や率などを改定し所要の改正をおこなうものです。

Q 介護保険料の基準額はどれくらい増額となるのか。
A 介護保険料の第5段階の基準額は、月額100円の増額となる。

甲斐市印鑑条例の一部改正の件を可決 コンビニで 印鑑登録証明書交付

■条例改正の内容

平成30年5月30日から、個人番号カード（マイナンバーカード）を利用して、コンビニエンスストア等に設置している多機能端末（マルチコピー機）から印鑑登録証明書の交付を受けられるサービスの開始に伴い、所要の改正を行うものです。

Q コンビニエンスストアを利用して印鑑登録証明書を交付する想定件数は、
A 5千件を想定している。



平成30年度

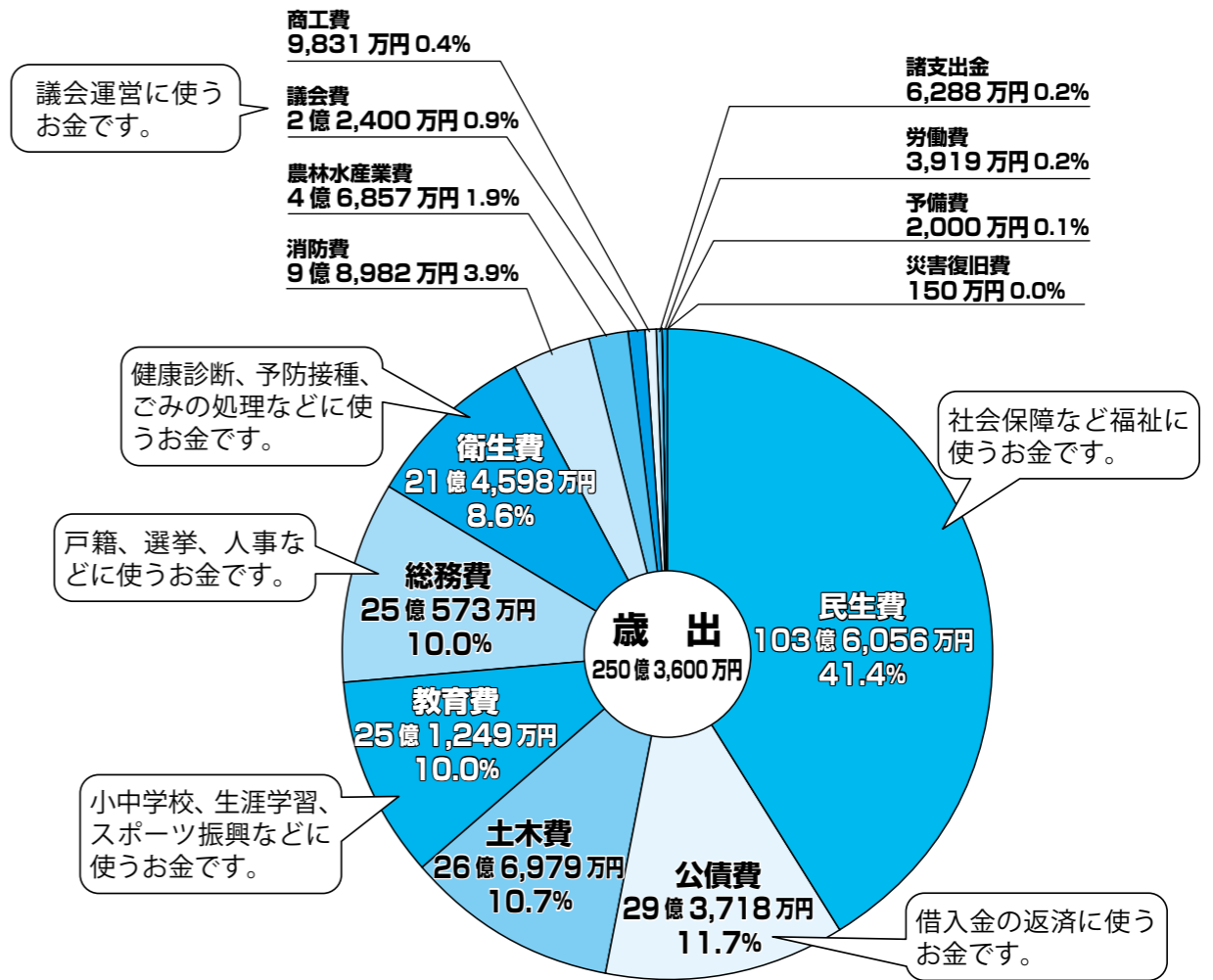
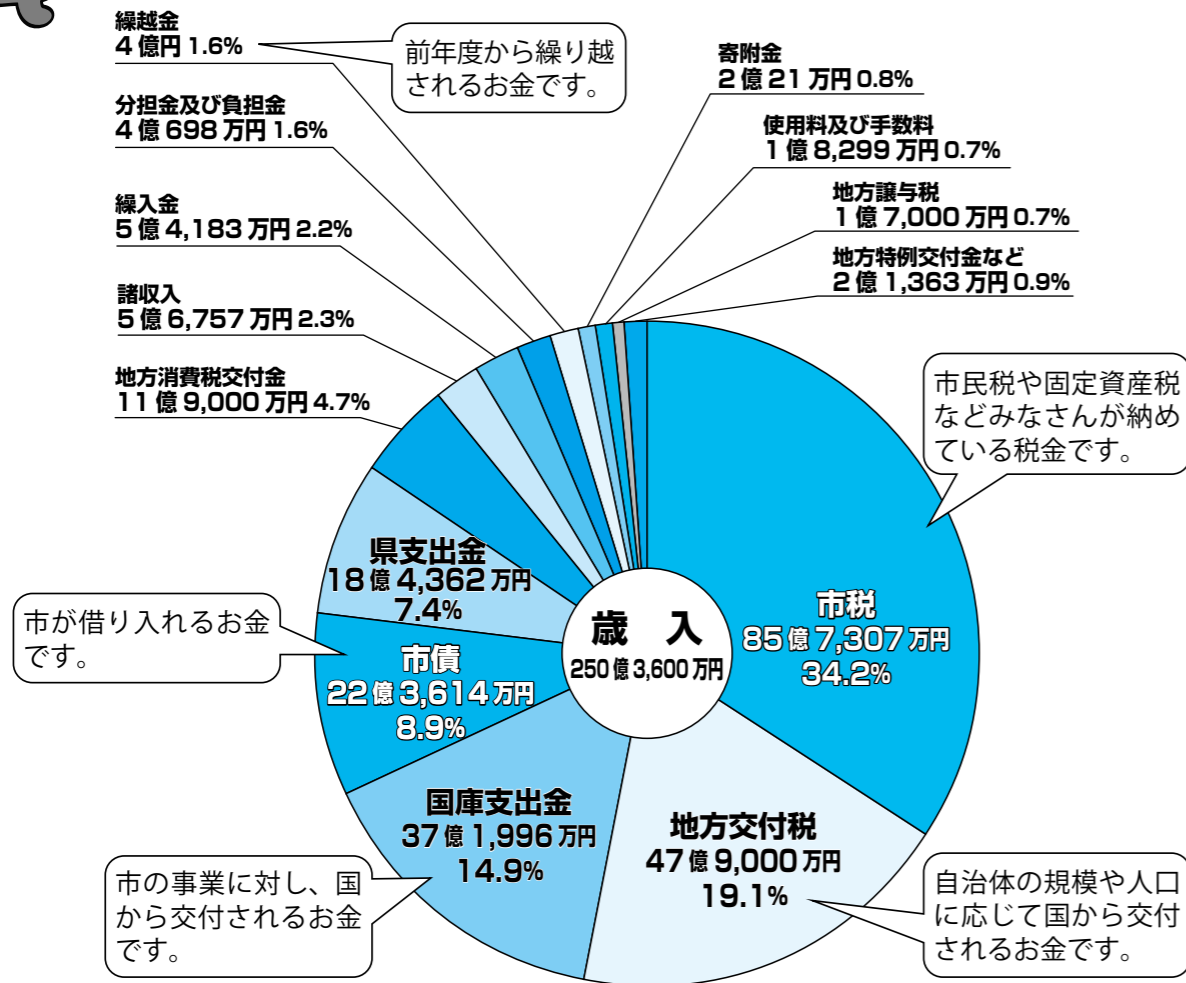
緑と活力あふれる生活快適 一般会計予算 最大規模

都市の実現に向け施策の選択と集中 250億3,600万円を可決



平成30年度一般会計当初予算の概要は

平成30年度一般会計当初予算は、予算審査特別委員会で審査後、討論の末、可決となりました。(P6～9に関連記事) 予算の特徴としては、平成29年度費3億2,200万円(1.3%)増の250億3,600万円となり、平成16年の市制施行以来、過去最大規模となりました。松島保育園の民営化整備事業や小規模民間保育所の新整備事業、JR塩崎駅の周辺整備事業など大型事業が相次ぐことが要因となっています。



私は賛成です。

賛成討論
長谷部 集 議員

平成30年度甲斐市一般会計予算は、増加する社会保障経費への柔軟な対応、塩崎駅周辺整備などを推進するとともに、老朽化した双葉西保育園の建替えなど、子育て支援に重点を置いた、将来の市民生活の安定に向けたまちづくりにつながる予算であると高く評価できる。

健全財政の堅持を基本とするなかで、「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現と「創甲斐教育」の推進に向け、新たな事業を取り入れた創意工夫のある予算であると判断するとともに、多様化する市民ニーズに応え、より一層、質の高い効果的・効率的な行政サービスの提供に努めるよう要望し、賛成討論とする。

私は反対です。

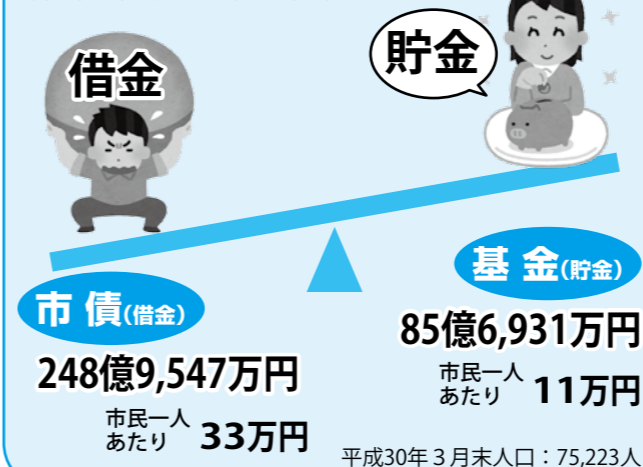
反対討論
松井 豊 議員

普通会計の主要指標は概ね良好で、医療・福祉・教育に一定の配慮がされていることは評価できる。しかし、歳入では、市民の消費税納入分130億円に対して、交付金が11億9千万円しかないこと、サテライト双葉の公営賭博売上金の一部納入も納得できない。

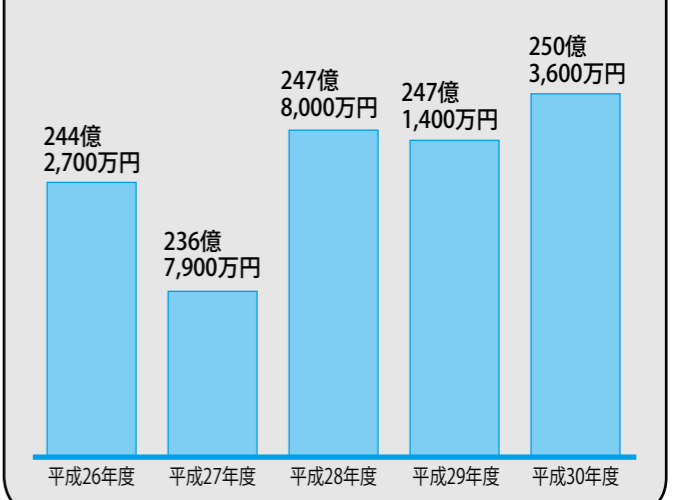
歳出では、行政サービスの根幹をなす正規職員の人件費が県内最下位であること。バイオマス産業都市推進事業が混迷の末に頓挫し、新たな事業者探しが始まったが、低いエネルギー交換率と排熱利用および燃料となる木材の確保が不透明のままである。

市債(借金)と基金(貯金)の見込み

(平成30年度末・一般会計分)



5年間の一般会計予算の推移



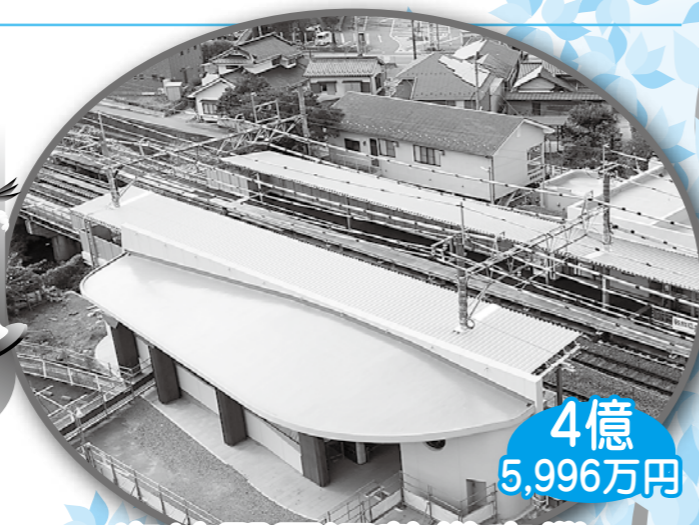
今年度の予算のなかで、新たに始める取り組みなど注目事業を集めてみました。



7,842万円

双葉ふれあい文化館改修工事

空調設備改修工事など。



4億5,996万円

塩崎駅周辺整備事業

JR 塩崎駅のホーム改良や南北駅前広場の整備工事などを行う。



1,499万円

一般広聴広報事業

市ホームページリニューアルなど。



72万円

小学校新1年生漢字ハンカチ配布事業

文字学習の一環として、1年生で学習する80字の漢字と市のマスコットキャラクター「やはたいぬ」がデザインされたハンカチを配る。



306万円

小学1～3年生国語教材配布事業

現在は、保護者が負担しているひらがなやカタカナ、漢字の学習教材を市費で購入する。



1億3,763万円

保育園建替事業

老朽化した双葉西保育園を平成31年度以降の園舎の建て替えの着工を目指す。



53万円

3～5歳児への国語教材配布事業

市内の公立保育園7園の園児を対象に、ひらがなの練習教材などを購入する。

今年度の注目事業を

議会がチェック!!



決算審査特別委員会の要望は？

昨年9月の決算審査特別委員会において、平成30年度当初予算に向けて、要望した内容について確認しました。

要望1 職員研修の拡充および専門職員の採用について

予算アップ 職員研修事業が増額されている。

要望2 小学校の英語教育の向上について

予算アップ 平成32年度の新学習指導要領に向け、予算を確保し、ALTの時間を増やしていく予定。

要望3 「2025年問題」への早期対策の推進について

予算アップ 一般介護予防事業が増額されている。

要望4 河川・水路の改良及び補修工事について

予算アップ 河川改修事業が増額されている。

平成30年度 当初予算会計別予算額

| 会計名 | | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 増減額 | 増減率 (%) |
|------|-----------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| 一般会計 | | 250億3,600万円 | 247億1,400万円 | 3億2,200万円 | 1.3 |
| 特別会計 | 国民健康保険特別会計 | 74億8,250万円 | 92億5,626万円 | △17億7,376万円 | △19.2 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 7億2,233万円 | 6億6,643万円 | 5,590万円 | 8.4 |
| | 介護保険特別会計 | 44億5,827万円 | 46億2,370万円 | △1億6,543万円 | △3.6 |
| | 介護サービス特別会計 | 1,042万円 | 1,059万円 | △17万円 | △1.6 |
| | 住宅新築資金等貸付事業特別会計 | 93万円 | 93万円 | 0円 | 0.0 |
| | 簡易水道事業特別会計 | 9,294万円 | 9,318万円 | △24万円 | △0.3 |
| | 地域し尿処理施設特別会計 | 1,537万円 | 1,917万円 | △380万円 | △19.8 |
| | 農業集落排水事業特別会計 | 1,256万円 | 1,352万円 | △96万円 | △7.1 |
| | 下水道事業特別会計 | 23億7,391万円 | 23億8,189万円 | △798万円 | △0.3 |
| | 合併浄化槽事業特別会計 | 2,938万円 | 2,911万円 | 27万円 | 0.9 |
| | 水道事業会計 | 11億1,719万円 | 11億2,073万円 | △354万円 | △0.3 |
| 総合計 | 413億5,180万円 | 429億2,951万円 | △15億7,771万円 | △3.7 | |

△はマイナス

平成30年度予算審査特別委員会レポート

どう使う？ 新年度予算

当初予算の審査は、委員21人による予算審査特別委員会（赤澤厚委員長、金丸幸司副委員長）を設置し、3月7日から14日までの間、延べ5日間審査を行いました。そのうち一般会計予算にかかわる質疑の一部を抜粋してお伝えします。

歳入

Q 個人市民税を増額としている要因は。
A 過去の実績を踏まえるとともに、報道等による所得水準が向上している状況を勘案し、増額としている。

Q 合併特例債の今後の動向は。

A 合併特例債については、平成31年度で終了する予定であるが、国において、さらに5年間の延長を検討しているとの情報がある。延長となった場合は、有利な起債のため、活用していきたいと考えている。



合併特例債を活用した島上条公園

歳出

Q 議会だより印刷等経費が増額になっているが。
A 市議会議員の改選に伴う臨時号を発行するためである。

Q 職員健康診断の受診率は。

A 平成30年2月末現在、正規職員では410名の受診を予定し、受診率は91・7%、一般非常勤職員は、96・2%である。

Q 平成30年度の消防団員活動服購入については、夏冬とも新しくなるのか。

A 新基準の消防団員活動服は、オールシーズンに対応するものを購入する。



防災訓練の様子

Q 新型Jアラート導入工事の内容は。

A 国の方針に基づき、情報量の増加に伴い、新型のシステムに更新する。なお、Jアラートで発信する情報については、これまでと変更はない。

Q 移住定住促進事業の内容と成果は。

A 事業内容としては、主に首都圏で開催される移住相談会への参画である。実績として、平成28年度においては、移住相談会を23回行い、224人の方から相談を受けた。なお、平成28年度末で19人が甲斐市に移住している。



移住定住ガイドブック「よっちゃばるかい」

Q 直近のマイナンバーカード交付枚数は。

A 平成29年12月31日末で、6,181枚である。



Q 甲斐市自殺対策推進計画の概要説明を。

A 平成28年4月の改正自殺対策法の施行に伴い、自殺対策の地域格差を解消し、誰もが生きることの包括的な支援としての、自殺対策に関する必要な支援が受けられるよう、平成30年度中に概ね5年以内を計画期間とした自殺対策推進計画を策定する。

Q 市職員のハラスメントの相談状況は。

A 昨年度と同様に平成29年度について相談はなかった。

Q 剪定枝の処分件数及び処分状況は。

A 剪定枝は、西八幡管理地と敷島自然休養村の2箇所処分しているが、平成28年度末で持ち込み量は、5,550件で664・36tである。現在、粉碎処理したチップは、希望者に配布し、適正に処理できている。

Q 峡中広域シルバー人材センターの登録者数は。

A 平成28年度末で、会員数は、809人おり、甲斐市の方は538人の方が登録している。

Q 地域おこし協力隊の活動実績は。

A 平成29年度では、さつまいも栽培を中心にして活動を行い、その他、双葉の農の駅、ゆうのう敷島での売り場の配置替え、展示等の支援、それぞれのホームページの更新に携わっていた。なお、毎月、活動報告を受け、市ホームページに掲載している。



地域おこし協力隊のさつまいも栽培

Q これまでの木造住宅耐震診断をした合計件数および改修件数は。

A 平成16年から受付を開始しているが、これまで、木造住宅耐震診断をした件数は568件で、診断結果をもとに改修した件数は22件である。

Q ドラゴンパークの園路のひび割れが酷いが修繕の計画はあるのか。

A 現在、国への補助要望をしているが、交付決定があり次第、補正予算での対応を検討している。

Q 学校施設長寿命化計画の進捗状況およびスケジュールは。

A 平成29年度は、現地の老朽化調査および調査に基づく学校ごとのカルテを作成している。平成30年度は、優先順位を勘案し、整備の基本方針や整備の年次計画等、基本計画を策定する。

Q 運動部活顧問任用事業は、どういう方を考えているか。

A 柔道となぎなたの指導にあたる2名の中学校の部活の顧問を考えている。

Q 給食費の滞納状況は。

A 平成30年2月末で、現年度分98・69%、過年度分は21・87%、合計で97・27%の徴収率である。滞納額は、852万9,366円である。

Q 給食費無料化を検討してほしいがどう考えているのか。

A 現在は、原材料のみの負担であり、今後、さらなる軽減策は、現段階では考えていない。

Q 甲斐市版ネウボラ推進事業のなかで、県の産前産後ケアセンターを利用する方にどれくらい助成しているのか。

A 県の産前産後ケアセンター（宿泊施設の利用料は、3万3,900円の利用料がかかるが、一般世帯については、2万7,800円を市と県で2分の1（1万3,900円）ずつ助成している。なお、差額の6,100円は、自己負担となる。



山梨県産前産後ケアセンター

平成29年度 一般会計補正予算（第8号）

(仮称)上八幡公園整備進む



2億7,424万円 増額を可決

(仮称)上八幡公園建設地

一般会計補正予算（第8号）は、国庫負担金、市債などを財源に、都市計画費、社会福祉費などの増額の補正予算が定例会最終日に提出され、採決の結果、全会一致で可決しました。

■歳入（財源）

| 項目 | 金額 |
|-------|-----------|
| 国庫支出金 | 1億3,705万円 |
| 市債 | 9,120万円 |
| 繰入金 | 4,599万円 |

■歳出（使いみち）

| 項目 | おもな事業 | 金額 |
|-----|---------------------------------|-----------|
| 土木費 | 公園整備事業 （(仮称)上八幡公園整備工事等） | 1億8,630万円 |
| 民生費 | 扶助費（生活保護費等） | 6,800万円 |
| 教育費 | 玉幡中学校費（旧給食室解体工事） | 1,500万円 |
| 総務費 | 市民温泉等維持管理事業 （かまなしの湯取水ポンプ修理等） | 494万円 |

みなさんからの請願 はこうなりました。

| 件名 | 提出者 | 紹介議員 | 要望事項 | 結果 |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------|---|---|
| 甲斐市各機関における非行政書士行為排除の徹底を求める請願 | 山梨県行政書士会 会長 岡 伸 | 小澤 重則 有泉庸一郎 清水 正二 | ①甲斐市各機関の窓口において、申請者・届出人等の本人確認を徹底すること。 ②甲斐市各機関の窓口において、申請・届出等を代理又は代行する者が行う場合は、その者が法定の代理人であるか否かの確認を徹底すること。 | 採択 (全会一致) 市に請願書を送付し、結果等を請求 |
| 国民健康保険財政の都道府県への移管に係る意見書採択についての請願 | 山梨県 社会保障推進協議会 会長 飯塚 譲 | 樋泉 明広 | ①県は早急に各市町村に当該市町村の納付金と標準税率の試算を知らせ、全市町村の結果を県民に公表する等。 | 不採択 (賛成3、反対16) |
| 「安心できる年金制度の実現を求める意見書」提出の請願 | 全日本年金者組合 甲斐支部 支部長 小沼 俊彦 | 松井 豊 樋泉 明広 | ①年金の隔月支給を国際水準並みに毎月支給に改めること。 ②年金の支給開始年齢はこれ以上引き上げないこと。 | 不採択 (賛成3、反対16) |

平成29年度 一般会計補正予算（第7号）

**バイオマス関連予算を減額し
財政調整基金などの積立を実施**



9,732万円 増額を可決

木質バイオマス発電所建設予定地

一般会計補正予算（第7号）は、地方交付税などを財源に、基金費や農業費などの増額、環境衛生費や児童福祉費の減額などの補正予算が提出され、採決の結果、全会一致で可決しました。

■歳入（財源） ※△は減額

| 項目 | 金額 |
|----------|------------|
| 地方交付税 | 5億1,969万円 |
| 諸収入 | 3,860万円 |
| 分担金及び負担金 | 1,425万円 |
| 繰入金 | 285万円 |
| 使用料及び手数料 | 137万円 |
| 財産収入 | △113万円 |
| 県支出金 | △2,614万円 |
| 国庫支出金 | △9,827万円 |
| 市債 | △3億5,390万円 |

■歳出（使いみち） ※青字と△は減額

| 項目 | おもな事業 | 金額 |
|--------|---|------------|
| 諸支出金 | 財政調整基金積立 公共施設等整備基金積立 | 5億2,482万円 |
| 農林水産業費 | 県営土地改良事業（竜地ため池改修等）、 中北部活性化事業（クライנגルテンクラブハウス内保冷库修繕） | 3,080万円 |
| 公債費 | 元金、利子 | △573万円 |
| 総務費 | 衆議院議員選挙費 竜王庁舎維持管理事業 | △799万円 |
| 教育費 | 自治会体育事業育成補助事業 幼稚園就園奨励費、給食センター運営費 | △1,961万円 |
| 民生費 | 子ども医療費助成事業、児童手当 ひとり親福祉事業 | △4,744万円 |
| 土木費 | 塩崎駅周辺整備事業 幹線道路整備事業、橋梁長寿命推進事業 | △1億4,470万円 |
| 衛生費 | バイオマス産業都市推進事業 国民健康保険特別会計繰出金 | △2億3,283万円 |

補正予算の可決に伴う事業を紹介します。

バイオマス産業都市推進事業 [2億2,622万円の減額]

バイオマス産業都市構想に基づく、木質バイオマス発電事業の早期事業化に向け、発電事業者の選定に改めて着手することによる減額。

●主な質疑

Q 木質バイオマス発電事業に関して、これまでかかった費用はどれくらいか。

A バイオマス産業都市構想を策定した費用など、およそ3,500万円である。

議案を
チェック

補正予算

委員会レポート

今定例会における各常任委員会での議案審査の質疑を抜粋してお伝えします。

(3月1、2日開催)

総務教育常任委員会

補正 幼稚園就園奨励費 896万円の減額

概要： 就園奨励費の対象であった私立幼稚園が認定こども園等に移行したことによる認定者数の減少に伴う減額

Q 支給対象となる私立幼稚園の数、人数は。

A 平成28年度決算時の幼稚園数は14園で対象者304人、平成29年度の見込みは10園で対象者214人である。

補正 自治会体育事業育成補助事業 58万円の増額

概要： 自治会体育事業への補助金の増額

Q どれくらい増えたのか。

A 昨年度より6自治会増え、全体で114自治会、参加人数は345人増加し、14,211人である。

建設経済常任委員会

補正 松くい虫防除対策事業 150万円の減額

概要： 松くい虫防除対策事業委託料の執行額の確定に伴う減額

Q 当初計画に対し、どれくらい達成したのか。

A 当初は、450本を計画していたが、今年度は361本である。

Q 松くい虫の被害の状況について、山梨県の判断は、横ばいということだが、市の判断は。

A 山梨県において、県全域の調査を実施しており、横ばいと判断である。市独自の調査は難しい。



被害にあったアカマツ(清川地区)

厚生環境常任委員会

補正 竜王西保育園費 700万円の増額

概要： 国における処遇改善、人事院勧告のベースアップに伴う増額

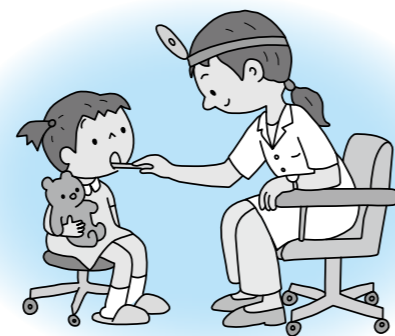
Q 他の保育園は、処遇改善をしないのか。

A 他の保育園については、処遇改善を行うため、平成29年12月に予算を補正した。



竜王西保育園交通安全教室

補正 こども医療費助成事業 1,600万円の減額



概要： こども医療費の決算見込みに基づく減額

Q 何故医療費が下がっているのか。

A 平成29年9月から、新規に高校生への入院時医療費等を助成しているが、申請期限が2年あるため、市に申請してない方がおり、予定金額に満たないためである。

敷島小学校大規模改修工事(2工区) 請負契約締結の件を可決



大規模改修が予定されている敷島小学校

請負契約概要

| 契約の目的 | 契約の方法 | 契約の金額 | 契約の相手方 |
|-------------------|-------------|-----------|--|
| 敷島小学校大規模改修工事(2工区) | 一般競争入札による契約 | 1億5,876万円 | 中村建設・渡辺建設興業敷島小学校大規模改修工事(2工区) 共同企業体 代表者 中村 国男 |

工事概要

校舎北館・南館の教室床改修等内装、建具、機械設備、電気設備など

— 定例会人事 —

副市長および教育長が変わります。

副市長

飯室 崇 氏の退職(平成30年3月31日)にともない、内藤 博文 氏(企画政策部長)の選任に対し同意しました。

教育長

西山 豊 氏の任期満了(平成30年3月31日)にともない、生山 勝 氏(教育部長)の任命に対し同意しました。

その他の人事

| 案 件 | 名前(地区) | 議決結果 |
|---------------------|------------|------|
| 甲斐市恩賜県有財産保護財産区管理会委員 | 笹本 嘉朝(神戸) | 同意 |
| 人権養護委員候補者 | 志村 里枝(中下条) | 適任 |
| 人権養護委員候補者 | 齊藤 敏文(竜王) | 適任 |
| 人権養護委員候補者 | 藤本 さゆり(竜王) | 適任 |
| 人権養護委員候補者 | 小宮山 千雪(竜王) | 適任 |
| 人権養護委員候補者 | 増坪 総明(下今井) | 適任 |

大規模災害時限定の消防団員の導入について聞く

市長 ▶ 導入について研究課題としていく



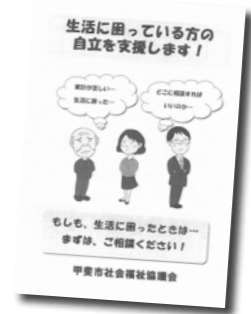
公明党 金丸 幸司 議員

金丸 大規模団員の導入は災害時の消防団の役割が多様化する中、今後発生する大規模災害において、通常の団員だけでは十分に対応できない事態に備えるため、大規模災害時限定の消防団員を導入し防災体制を更に進めるべきと思うが。

市長 本市における消防団員の定員は620人と定めており、平成29年4月1日現在における消防団員数が570人と定員に至っていない現状にある。大規模災害を想定した際に団員不足を懸念する声もあり、本市においては平成26年度から機能別団員の導入を行ったところである。また、地域の安全、安心を守る消防団員の確保については、引き続き努力していくと共に大規模災害団員の導入についても研究課題としていく。

生活困窮者自立支援の成果について聞く

市長 平成27年度から生活困窮者に対し生活保護に



生活困窮者の方へのチラシ

至る前の段階で具体的なプランを作成し、自立に向けた支援を行う甲斐市生活困窮者自立相談支援事業を甲斐市社会福祉協議会へ委託し実施している。平成27年度は130人の相談者に66件の支援プランを作成し、27人が就労に結びつき、平成28年度は178人に60件の支援プランを作成し、38人が就労に結びついた状況である。

金丸 生活困窮者の早期発見について聞く

市民部長 収納課が行っている納税相談、国民健康保険証等に係る相談、保育料納付相談などを行い、早期発見に努めている。

ここ3年のふるさと納税額の推移は

市長 ▶ ふるさと納税額は大幅に増えている



甲斐市民クラブ 金丸 寛 議員

金丸 ふるさと納税は全国的に本来の主旨からそれて、返礼品の高額化が問題となり、総務省の指導もあったところでもある。そこで改めてここ3年のふるさと納税額の推移と今年度の取り組みについて聞く。

市長 平成27年度が約6千5百万、平成28年度が約1億4千5百万、平成29年度の一月末現在で約2億1千81万の寄附をいただいている。今年度は、納税専用サイトを活用した「さとふる」「ふるさとポータル」を追加した。

金丸 本市から他市への平成27年度、平成28年度の納税額は。

企画政策部長 平成27年度が4千6百83万、平成28年度が約8千6百15万となっている。

金丸 今年度から返礼品に加えられた「やはいも」の状況について聞く。

市長 9月から12月までの提供とし、2kgと4kgの2種類に30件の申し込みがあった。

市長 緑化推進事業、子ども医療費助成事業、幼稚園就園奨励費、防犯対策推進事業等に全額充当させていただいている。

金丸 「市長と一緒にふるさとづくり」の具体例は。

企画政策部長 ふるさと応援寄付金事業、二地域居住事業、移住定住促進事業の3事業に6千6百66万4千円を充てている。

市長 公職選挙法に基づき、首長の地位を利用して選挙運動することは禁止されており、この法を理解する中で、市長就任以来、常に市の発展と、市民のためにと強い思いのもと、市政に取り組んでいる。

金丸 市民には様々な考えがあるので、立ち位置については十分配慮されたい。



ふるさと応援寄付金パンフレット

放課後子どもクラブの課題は

市長 ▶ 児童育成の支援体制を強化し、児童が健やかに育成されるよう取り組む



颯新クラブ 清水 正二 議員

清水 放課後子どもクラブの現状と課題について聞く。

市長 登録人数が1・5倍に増えており、今後も引き続き教室の確保を図り、職員のスキルアップ向上に努め、積極的に児童育成の支援体制を強化し、児童が健やかに育成されるよう取り組む。

清水 放課後児童クラブの定員と登録状況は。

市長 現在、市内の放課後児童クラブは22教室あり、定員は868人で、これは児童館内、小学校利用教室の面積から、一人あたり1・65㎡を確保した人数であり、現在の登録人数は1,287人だが、実際に利用する人数は、登録する人数の約6割の760人の定員内であり、面積基準の確保は経過措置により平成32年4月からの実施となっている。

清水 放課後児童クラブと学校の連携について聞く。

市長 児童の状況に関しては、小学校と意見交換会を行い学校生活の様子など、日々情報の共有に努めている。



玉幡さわやか教室を併設する玉幡児童館

清水 児童館との役割分担について聞く。

市長 児童館にあつては児童福祉法で定める18歳未満すべての子どもを対象に、遊びや生活の援助と地域における子育て支援を行う児童厚生施設として、児童厚生員による乳幼児教室や子育て相談を行っている。放課後児童クラブは、児童支援員を配置し、放課後における児童の生活の場を確保するとともに、適切な遊びや指導を行うことで児童の健全育成を図っている。

通学路の交通安全の確保について

市長 ▶ 関係機関と連携を図り通学路の安全確保に努める



颯新クラブ 有泉 庸一郎 議員

有泉 「子どもの命を守る」ための道路交通環境の整備について聞く

市長 本市では通学路の安全確保に向けた取り組みを行うため、「甲斐市通学路交通安全プログラム」を平成26年3月に策定し、毎年、通学路の安全点検を行っている。点検は、小中学校ごとに教職員、保護者、自治会等の方々が通学路を歩き児童・生徒の視点で実施し、道路管理者、教育委員会、学校関係者、地元警察署などのメンバーで構成される「甲斐市通学路安全推進会議」に報告し、歩道整備や交通規制等、それぞれの危険箇所に応じた対策を講じている。

有泉 交通安全教育の効果的な促進について聞く。

教育長 本市の各学校では、年度当初に月ごとの重点指導項目を定めた学校安全



全実施計画を立て、交通安全教育を継続的、計画的に行っている。また、葦崎警察署や市の専門交通指導員の協力のもと毎年交通安全教室を実施し、子どもたちは自分の命は自分で守るという学習をしている。

ごみ処理広域化についての現状を聞く

市長 昨年7月、峡北・中巨摩・峡南地域の11市町に対しごみ処理広域化について県より要請を受ける。

有泉 今後、事業を進めていく上でのスケジュールを聞く。

市長 平成30年度内で11市町による新たな一部事務組合の設立を行い、平成43年の稼働に向けて鋭意努力していく。

国民健康保険税を引き下げてはどうか

市長 ▶ 平成30年度も国民健康保険税率は据え置きにする

日本共産党 甲斐市議団 樋泉 明広 議員



樋泉 日本共産党甲斐市議団は、1月から市民に向けてアンケートを実施した。このアンケート結果に基づいて、①国保税の軽減を、②生活道路・通学路の安全対策、③憲法問題 ④消費税増税問題等 について質問した。特に国保税軽減の要望について聞く。

市長 国保税の軽減は医療費の増加や広域化新制度の初年度等から慎重に検討するが、平成30年度も国保税率は据え置きにする。

樋泉 平成30年度の生活道路整備・通学路の安全対策について聞く

市長 平成30年度の生活道路整備については、道路拡幅工事、道路舗装工事および道路側溝改修工事など約120件の工事発注を予定しており、市民の安全確保や利便性の向上のため、引き続き道路整備を進めていく。

また、通学路については、甲斐市通学路安全推進会議で実施している、通学路合同点検の結果に基づき、児童・生徒の安全確保に努めていく。



市民アンケート結果を調査

社会福祉行政の子育てをめぐる環境改善について

市長 ▶ 甲斐市版ネウボラ事業など子育て家庭に向けた施策に取り組んでいる

新政クラブ 池神 哲子 議員



池神 創甲斐教育の進捗状況について聞く。

教育長 具体的な平成28年度の創甲斐教育の進捗状況は、学校教育の充実の分野では、道徳教育の推進・規範意識・思いやりの心の育成などに取り組むとともに、授業の改善と学習意欲の向上を目指し、特別支援教育の充実も図っている。家庭・地域・学校の連携強化の分野では、幼稚園、保育園と小学校、中学校、そして家庭が連携し、ふれあいを通して豊かな心の育成を図っている。生涯学習・文化活動の分野では、市民参加によるスポーツイベントを開催するとともに市体育協会やスポーツ少年団等の育成を図っている。図書館活動の推進の分野では、図書館資料の充実を図るとともに幼稚園・保育園等の利用促進として、司書が向く移動図書館も行っていく。今後も創甲斐教育の更なる推進に取り組んでいく。

高齢者が生き生きと暮らせる健康づくりに取り組んでいる



高齢者運動会

所有者不明土地は市内にどのくらいあるか

市長 ▶ 納税義務者不明の土地11筆、約2,800㎡である

公明党 保坂 芳子 議員



保坂 所有者不明土地発生を予防するには、**市民部長** 相続登記が必要だと考える。死亡届が提出された場合には、法務省のリーフレットを配布し、周知を図っている。

保坂 土地相続の相談窓口を設ける考えは、**市民部長** 現在は市の無料法律相談の利用をお願いしている。今後、国で法改正制度の見直しを検討されると思うので対応したい。

認知症サポーター養成講座を受けた人数とその後の活動は

市長 延べ5、817人受講し、56人がキャラバンメイトで活動している。また、フオローアップ講座を実施している。

保坂 認知症に対する正しい啓蒙を広げ、地域で見守る体制の整備は、**市長** 地域包括支援センター内に認知症地域支援推進員1名を配置し、医療、介護サービス等の連携支援、認知症の方や家族を支援する相談業務を行っている。



地域で見守りたい認知症

入学準備金、就学援助費は他市に比して低くないか

教育長 ▶ 新年度から就学援助費の補助額を引き上げる

日本共産党 甲斐市議団 松井 豊 議員



松井 子どもの医療費無料化の中学生以上の償還払いについて、国保の減額調整措置が緩和されたので、すみやかに窓口無料化にすべき。

市長 中高生の償還払いについては、適正な受診による医療費の抑制など、限られた財源の中で持続可能な施策として理解された。

松井 入学準備金、就学援助費について、甲斐市の単価額は国基準・他市に比して低くないか。

教育長 新年度から援助制度を融合し、就学援助費の補助額の引き上げや入学準備金の前倒しを実施することにより、県内各市の中では、トップクラスとなる。

松井 保育所の待機児童解消の要望が多い。保護者の要望は十分満たされているのか。臨時定員増などは検討されたか。

市長 平成30年4月の入園申込は、0歳児、1歳児の急増により、定員469名の新規受入枠を超えている。保育士の増員を含め



くりおよび買い物難民の施策について聞く

市長 健康づくりの施策としては、介護予防のための各種運動教室、いきいきサロンのほか、甲斐市健康ポイント事業をはじめ、ラジオ体操や高齢者ステップ体操などのスポーツ教室、ねんりんピクニック、高齢者運動会などを実施している。買い物難民の施策については、要支援者を対象とした買い物を含む日常生活支援を甲斐市社会福祉協議会および峡中広域シルバー人材センター他7事業所が独自に実施している。今後も、高齢者への買い物支援を含めた日常生活支援サービスの充実等について、検討していきたいと考えている。

特集 市民と議会の対話集会

敷島地区 第13回 (上町北、上町南、敷島堅町 他)

11月9日
敷島総合文化会館



Q 今日の対話集会について、もう少し対象地区を広げて参加者を多く集めてほしかった。

A 議会をより身近に感じて欲しいと考え、2年前から各自治会を対象にした「市民と議会の対話集会」を実施している。

Q 甲斐市の警察署はどうなっているか。できれば敷島地区にあればよいが。

A 富士吉田署の完成後に甲斐市の警察署の整備が始まると聞いている。場所については、葦崎の幹線道路に近い所での条件があり、ラザウォーク甲斐双葉店の向かいに建設するようである。

Q 消防署は、広域化された方が便利ではないか。

A 山梨県で消防の広域化の検討をしたが、現時点では一本化は難しいようである。市民のために行政に繰り返し訴えていきたい。

Q 議員年金制度は廃止になったということだが、現在受給している方への財源は。

A 地方自治体が、法律に基づき、財源を負担している。

市議会では、開かれた議会への取り組みとして、もっと市民に身近な議会にしていくため、地域に飛び出し、今年度で5年目となる『市民と議会の対話集会』を開催しました。

竜王地区 第14回 (富竹新田1区、2区、3区、4区 他)

11月17日
竜王東児童センター



Q 災害が起きた時に市の災害対策本部と議会の災害対策本部はどのような連携をしているか。

A 議会の災害対策本部は、議員が各地区の災害状況の把握に努め、情報を収集する。その情報を市に伝え、市の災害本部が対策を講じる。

Q 災害対策にあたり甲斐市はどの程度災害に慣れたNPOを把握し連携をしているのか。

A 市では、自助、共助、公助の考えのもと、地域防災に力を入れ、マニュアルを策定している。現在、市の防災リーダー養成講習においては、NPOの方が講習を行っている。なお、市では、減災にむけ、様々な団体や医師会など協定を締結している。

Q 田富町敷島線の富竹工区1区の進捗状況と開通の時期はどうなっているか。

A 田富町敷島線の富竹工区1区は、現在、設計等が終わり用地買収に取り掛かっていると聞いている。用地買収は平成32年頃までかかり、バイパスまでの供用開始は、平成35年度を目指している。

Q 道路の排水がうまく出ていない箇所があるので、確認していただき、対策をお願いしたい。

A 議会の決算審査特別委員会で要望があり、予算措置を執行側へ要請している。

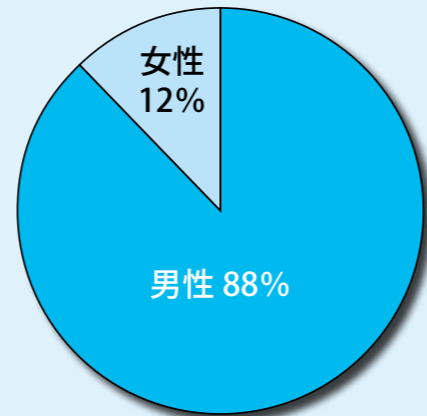
アンケート結果

各会場において、アンケート調査を行いました。

この調査結果は、今後さらなる議会改革を進める上での貴重な基礎資料として活用させていただきます。なお詳細な結果については、市議会ホームページに掲載してありますので、ご覧ください。

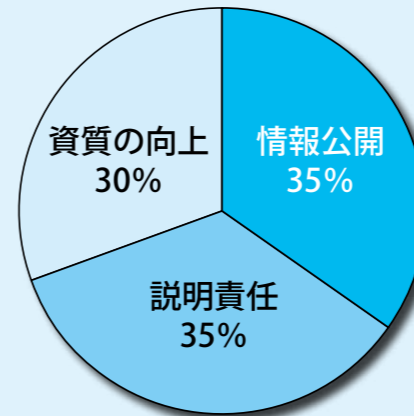
回答者の性別・年代

回答者25人のうち、22人が男性、3人が女性でした。
年代については、60歳以上が21人、50歳代が4人でした。



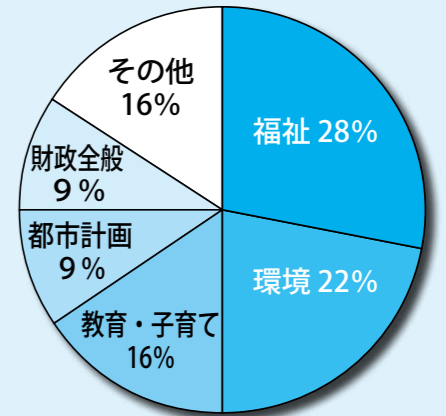
議会・議員に求めることは

今後の議会・議員に求めることに関しては、『情報公開』、『説明責任』、『資質の向上』がほぼ同じ数でした。



今後取り上げて欲しいテーマは

幅広い項目に関心がある中、前回同様に福祉に関する項目が多い結果となっています。



議会だよりの表紙写真を募集しています!!

あなたの撮った
写真で表紙を
飾ってみませんか?



送付先 〒400-0192 甲斐市篠原2610番地 甲斐市議会事務局 庶務・議事係 Email: gikaishomu@city.kai.yamanashi.jp

議会だよりNo48号から55号は、
私たち議会広報常任委員会のメンバーで編集しました。
ご愛読ありがとうございました。



(後列左から) 滝川美幸委員、五味武彦委員、山本今朝雄委員、清水正二委員
(前列左から) 松井豊委員長、小浦宗光議長、保坂芳子副委員長

詳しくは

市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。

TEL (055) 278-1673

ホームページアドレス
<http://www.kai-shigikai.jp>



甲斐市議会

検索

甲斐市議会
検索してください



編集後記

私たち6人のメンバーで議会広報常任委員会を構成し、議長同席のもと、各号につき3回の委員会を開催し、定例議会の翌月発行というスケジュールで第48号～55号の「議会だより」を発行してきました。

私たちは議会の内容(質問、審議内容、採決など)を正確に伝えるだけでなく、字句・表現・配分を解りやすいものに、議会を身近に感じてもらうよう工夫してまいりました。

全戸配布の「議会だより」は、市民と議会をつなぐツールとしての意義は大きく、インターネット配信のアクセス数も増加しています。個人的なことですが、何人かの方に「たよりの評価をいただいたことも嬉しいことです。

【議会広報常任委員会

委員長 松井豊 記】

「議会活性化のために」議員研修会を実施

議員定数、議員報酬について学びました



熱心に耳を傾けた研修会

地方議会研究会代表、全国都道府県議会議長会元議事調査部長・議会制度研究アドバイザーの野村稔氏を招き、「議会活性化のために」と題した研修会を平成30年2月2日(金)に実施しました。

研修は、市議会議員定数の変遷から始まり、議員活動の役割、議員定数の減少による長所と短所、議員報酬についての内容でした。印象深いのは、「議員定数の減少による長所としては、議員報酬が減額となることによる財政効果が考えられる。一方、短所としては、議員が減ってしまうことにより、市政に対する市民の意思の反映や執行機関へ議会の監視力が低下してしまうことがあげられる。また、議員報酬は、市の決算額から見ると大きな額ではなく、閉会中の活動を補償しているものではない。しかし、閉会中の活動こそ、市民要望を把握するうえでは、とても重要である。」との説明でありました。

今後も、議員および議会の役割を再認識するとともに、市民の代表者として、市民の意見を積極的に把握し、議員定数や議員報酬について考えていきたいと思います。

議会を傍聴

してみませんか!

手続きは簡単です。

本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。

議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

なお、次回定例会は、6月を予定しています。(詳しい日程は、ホームページに掲載されます。)



市民の声



甲斐市を好きになる

手塚 彰夫
〔玉川西区〕

甲斐市は富士山、八ヶ岳、南アルプスがよく見え、釜無川も流れる良い街です。市民としてこの市を好きになる事が大切だと思います。そのためには市民、議会、市役所は協力して街づくりをしていきたいと思っています。そのために市政に対して参加意識を持ち、市民として自立した姿勢を持ちたいと思います。

今は少子高齢化や社会福祉など解決すべき問題は多いですが、市財政の健全運営も考える必要があります。市民としてただ要求するだけでなく、議会と市役所に対して具体的な対策を提案するだけの意識と知識を持つ必要もあると考えます。自治会活動に参加する、いきいきサロンで地域住民と話し合う、市議会を傍聴する、市議会との交流会に参加する、市議会議員と日頃の会話をします。市議会議員選挙、市長選挙で候補者の方針をよく理解して投票に行く。こうした日頃の地道な行動が市民としての自立を実現すると思います。この美しく住みやすい街をより高いレベルに上げるために自分たちにも何が出来るか考えたいと思います。

この街を好きになると明るい未来が開かれます。



議会傍聴記

上條 行雄
〔榎西区〕

平成30年甲斐市議会第1回定例会が2月26日に開かれ、審議の様様を初めて傍聴しました。午前9時50分、議長ほか20名の議員と市長等行政側から13名が出席し、甲州弁ラジオ体操。10時に議長が入場すると全員が起立。議長の着席に合わせ着席。副議長が“相互に礼”の合図後、本定例会を始め、当日の出席議員21名で、15番の議員が欠席と報告、議長あいさつで県民人口の減少にふれたり、日程の説明を行い、甲府、中巨摩、峡北各広域行政事務組合の定例会に出席した代表がそれぞれ登壇し、予算や人事案件が適正に処理されたなどの報告がありました。

次いで市長が登壇。平昌五輪で日本女子が活躍したこと、竜電関が幕内9枚目に昇進したこと等を語ったあと、市政の総合戦略を読み上げ、バイオマス産業都市構想で、発電事業者の選考、旧緑化センターの活用、竜王中部公園セミナーハウスの落成式など、42ページに及ぶ説明を1時間にわたって、項目を並べ読み上げました。11時25分、一旦休憩。11時40分再開。一般質問が始まり、正面の演壇から、傍聴人にも配られた質問項目を読み上げ、市長の答弁を求めました。行政側の前にある演壇から、1対1の質疑が行われ、質問議員は“議長再質問を致します”と16回に及ぶ質疑が繰り返されました。

遺言相続 成年後見 空家対策 農地転用 等の
相談から負担軽減のお手伝い

横森行政書士事務所
 山梨県甲斐市中下条323番地4 特定行政書士 **横森 潤**

☎055-277-2139 ホームページもご覧ください！

毎月第2土曜日無料相談実施中(要事前予約)

※行政書士法に則り(守秘義務有)、ご相談に対応致します。

有
料
廣
告

*****引越しのお手伝い致します*****

不用品の買取・回収・販売
 ★ゴミの片付け・遺品整理も致します。

リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地 88-1 (年中無休)
 ☎0551-28-6262

出張回収にも伺います！お気軽にお電話ください。

議会広報常任委員会

| | |
|------------|-----------|
| 委員長 松井 豊 | 委員 五味 武彦 |
| 副委員長 保坂 芳子 | 委員 清水 正二 |
| 委員 滝川 美幸 | 委員 山本 今朝雄 |

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円) HPアドレス <http://www.kai-shigikai.jp/>